

## 「三位一体の祭日」(6月7日)公開ミサ再開のお知らせ

清川 泰司神父

新型コロナウイルスの影響により、長い間、公開ミサを中止しておりました。5月22日、大阪教区大司教は、「新型コロナウイルス感染下にある教会での集まりについてのガイドライン」の条件下、5月31日に「聖霊降臨」公開ミサを再開することを決定しました。なお、茨木教会の場合は、周辺の教会との歩調を合わせ、6月7日「三位一体の祭日」に公開ミサを開始する事に致します。

現状は、新型コロナウイルスがすべて無くなったわけでもなく、また特効薬、ワクチンもない状態です。さらに、第二波が起こらない保証もありません。この状況で、教会でミサを行う事は、依然危険な状況です。できれば、体調面に不安を感じる方は、ミサに参加する事を控えてください。

ミサを行うにあたり、三密を避けるために、大阪大司教教区のガイドラインに基づきミサを行います。特に、皆さんには、下記の「ミサ参加要項」に目を通し、ご協力をお願い申し上げます。

尚、週日のミサ(土曜日朝10時)については、6月中はミサを致しません。また、評議会ならびに、委員会は、当分の間、休会と致します。

### [ミサ参加の要領]

1. 必ずマスクを着用してください。
2. ご自分の名前・住所・電話番号を用紙にご記入の上、所定の箱に入れてください。
3. 敷地内の歓談、談笑は出来る限りしないでください。もし話す場合は、距離(1~2m)を置いてお話しください。
4. 入口で献金を入れた後、用意されたアルコールで手指の消毒を必ずしてください。そのあと、極力不要なものに手を触れないでください。
5. ミサ中、聖歌は歌いません。会衆の応答部分も小さな声で行ってください。
6. 聖体拝領の列は、十分な間隔(1~2m)を取りお並びください。
7. 聖体拝領の際、手に受けて横に移動しマスクの片側を耳から外して拝領し、そのあと着用してください。
8. 閉祭後はすみやかに退堂し、お帰りください。

教会は、集団感染の危険性がないわけではありません。また、教会敷地内での感染は、個人の問題ではなく、カトリック教会全体の問題になります。どうか、御配慮のほどよろしくお願いいたします。